

【研究活動報告】

リカレント研究員主催の学習会活動報告

キーワード: 研究員交流、輪読

八田 友和 (HATTA Tomokazu)

浦田 誠一 (URATA Seichi)

三宅 啓之 (MIYAKE Hiroyuki)

I はじめに

2022年度より、リカレント研究員同士の交流を図り、研究を深化させることを目的に、リカレント研究員による自主的な学習会を行っている。現在は、宮口幸治氏の『ケーキの切れない非行少年たち (新潮新書)』を課題図書として輪読形式の学習会を開催している。

II 学習会の概要

ここでは、学習会の概要について整理する。

- (1) 名 称：リカレント研究員 学習会
- (2) 日 時：月1回程度 20時～21時で実施 (基本的には、第3土曜日に実施)
- (3) 参加者：リカレント研究員 (希望者のみ)
- (4) 実施方法：Google Meet を活用して、オンライン上で実施
- (5) 実施内容：『ケーキの切れない非行少年たち』を課題図書として、輪読形式で実施
- (6) 学習会の進行について

課題図書の輪読は1章ごとに行っている。参加予定者は、事前に該当する章を読み、内容を理解した上で参加する。報告者は、担当箇所の要約を行い、学習会の冒頭で発表を行う。発表後、フリートークを行い、お互いの意見や解釈を議論させていく。実施日時に関しては、リカレント研究員それぞれが本務 (本業) を抱えていることを踏まえ、休日の夜間に設定している。

III 学習会の内容

- ・2022年8月20日 (土) 20:00-21:00 参加人数：3名

報告者が“第1章「反省以前」の子どもたち”について要約・発表を行い、その後フリートークを実施。

- ・2022年9月17日(土) 20:00-21:00 参加人数: 2名
報告者が“第2章「僕はやさしい人間です」と答える殺人少年”について要約・発表を行い、その後フリートークを実施。
- ・2022年10月15日(土) 20:00-21:00 参加人数: 3名(うち1名は、担当教員)
報告者が“第3章 非行少年に共通する特徴①”について要約・発表を行い、その後フリートークを実施。途中から担当教員の小関先生がGoogle Meetに入室された(助言をいただいた)。
- ・2022年11月19日(土) 20:00-21:00 参加人数: 2名
報告者が“第3章 非行少年に共通する特徴②”について要約・発表を行い、その後フリートークを実施。
- ・2022年12月17日(土) 20:00-21:00 参加人数: 2名
報告者が“第3章 非行少年に共通する特徴③”について要約・発表を行い、その後フリートークを実施。第3章は分量が多いため、3回に分けて報告を行った。
- ・1月の学習会は諸事情により中止。
- ・2023年2月18日(土) 20:00-21:00 参加者3名(うち1名は、担当教員)
報告者が“第4章 気づかれない子どもたち”について要約・発表を行い、その後、フリートークを実施。担当教員の小関先生より、次年度の学習会の進め方や日程等について意見をいただいた。
- ・2023年3月18日(土) 20:00-21:00 参加者2名
報告者が“第5章 忘れられた人々”について要約・発表を行い、その後、フリートークを実施。フリートーク終了後、次年度の学習会で使用する輪読書等について確認を行った。

IV 雑感

まだ数回の実施であるが、現時点での雑感をまとめる。

- (1) リカレント研究員は、それぞれ専門分野や研究手法が異なるため、多様な考えや研究手法について触れることができる。
- (2) リカレント研究員相互の考えや思いが課題を通して話し合われ、実質的な内容理解が深まる。そのことがそれぞれの研究に生かされる。
- (3) 文献の内容を討論し、その後の研究員同士の意見交換は、文献の深い理解につながっている。

【謝辞】

本研究を行うにあたって、八洲学園大学リカレント研究センター担当教員の小関慶太先生、山鹿貴史先生にお世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。

『リカレント研究論集 (3)』(2023. 3)

リカレント研究員主催の学習会活動報告 (八田友和・浦田誠一・三宅啓之)

【参考文献】

- ・宮口幸治『ケーキの切れない非行少年たち』2019年、新潮社

受理日：2023年3月19日

八田 友和

八洲学園大学 リカレント研究センター リカレント研究員

浦田 誠一

八洲学園大学 リカレント研究センター リカレント研究員

三宅 啓之

八洲学園大学 リカレント研究センター リカレント研究員